







Excelは 2007 バージョンから大きく変貌を遂げました。その一番大きな変更点は、「条件付き書式の強化」です。

条件付き書式は Excel 2003 までにもありましたが、利用範囲は限定的であり、ビジュアル的にも分析用のそれとは大きくかけ離れていました。ところが、2007以降はそれが大きく改善されました。

Excel 2013からは、この強化された条件付き書式に加え、Power View、Power Mapという動的にデータ を表現する仕組みも導入されています。パッと見、これが Excelなのだろうか……と目を疑うほどの表現 力が実装されました。

この章ではデータの可視化という観点から、これらの機能を紹介していきたいと思います。

# 2.1 Excelの表現手法を知ろう~条件付き書式~ 2007 2010 2013

ここで紹介する機能に特別な準備は必要ありません。また本書では、Excel 2013のスクリーンショットを 使っていますが、基本的には Excel 2007、2010、2013の各バージョンで利用することが可能です。Excel を準備して起動するだけで利用できます。

# データバー

データバーは、セルの中に棒グラフをセットできる機能です(図 2.1)。量的な比較をする際にとても重宝します。また、表とグラフを一度に表記できるため、省スペースにもなります。下記の例は、メンバーごとの2005年、2006年の売上金額をまとめたものです。表とグラフが分かれていると表とグラフを交互に見なくてはなりませんが、まとまっていると視線の移動が少なく、比較がしやすくなります。

またこの例の場合、複数の年をまたいだ比較ができます。図 2.1の右側では、各メンバーの受注金額の比較 を比較的容易にできますが、図 2.1の左側のように表とグラフが分かれた状態だと、それが難しいですよね。

#### <図 2.1のデータバーから把握できること>

● 最も受注金額の多い人は、
 2005年は「小川 さよ子」さん。受注金額は「1,272,100円」
 2006年は「川村 匡」さん。受注金額は「1,250,700円」

● 逆に受注金額の少ない人は、
 2005年は「青木 俊之」さん。受注金額は「590,500円」
 2006年は「小川 さよ子」さん。受注金額は「605,700円」

●従来のスタイル



データバーを利用

第 2 章

#### 「データバー」のセット方法

データバーの使い方は、次の2ステップのとおりです。たいへん簡単です。



# カラースケール

カラースケールは、セルに格納されたデータをもとに相対的に配色をする機能です。表全体のデータの傾向 を把握するのに最も有効な方法です。例えば図 2.3の事例であれば、金額の大きなデータ(グリーン)と小 さなデータ (レッド)を探すのにそれほど苦労しないのではないでしょうか。

受注金額	商品区分 ⊻								
月 💌	飲料	加工食品	菓子麵	鱼介麵	穀麵、シリアル	調味料	肉麵	乳製品	総計
01	¥251,700	¥48,700	¥205,800	¥63,600	¥130,900	¥185,900	¥336,500	¥174,900	¥1,398,000
02	¥252,600	¥94,900	¥144,400	¥320,600	¥298,800	¥213,000	¥286,800	¥133,500	¥1,744,600
03	¥100,500	¥233,100	¥125,000	¥221,000	¥265,300	¥157,100	¥188,600	¥135,600	¥1,426,200
04	¥176,800	¥186,900	¥87,100	¥553,000	¥213,500	¥121,800	¥243,600	¥125,400	¥1,708,100
05	¥283,200	¥33,200	¥255,000	¥176,200	¥274,000	¥634,900	¥137,000	¥178,300	¥1,971,800
06	¥356,500	¥245,000	¥59,200	¥786,100	¥242,900	¥240,200	¥104,000	¥69,800	¥2,103,700
07	¥436,400	¥215,300	¥106,100	¥373,500	¥392,500	¥245,200	¥182,900	¥184,900	¥2,136,800
08	¥307,900	¥140,700	¥138,100	¥515,300	¥342,600	¥114,900	¥149,000	¥91,800	¥1,800,300
09	¥334,500	¥120,900	¥180,900	¥136,600	¥158,900	¥471,500	¥139,300	¥197,900	¥1,740,500
10	¥300,800	¥142,500	¥109,400	¥234,400	¥246,500	¥221,200	¥142,600	¥100,800	¥1,498,200
11	¥199,700	¥270,400	¥155,400	¥124,700	¥259,600	¥463,100	¥97,500	¥208,600	¥1,779,000
12	¥721,400	¥1 42,600	¥81,400	¥403,600	¥190,100	¥107,500	¥36,400	¥148,400	¥1,831,400
総計	¥3,722,000	¥1,874,200	¥1,647,800	¥3,908,600	¥3,015,600	¥3,176,300	¥2,044,200	¥1,749,900	¥21,138,600

図 2.3 カラースケール

<図 2.3のカラースケールから把握できること>

- 最も受注金額の多い商品は、
  受注金額「786,100円」で6月の「魚介類」
  受注金額「721,400円」で12月の「飲料」
- 最も受注金額の少ない商品は、
  受注金額「33,200円」で5月の「加工食品」
  受注金額「36,400円」で12月の「肉類」

### 「カラースケール」のセット方法

カラースケールの使い方も、データバー同様、簡単です。図2.4に、その流れを示します。

①カラースケールをセットしたいエリアを選択する。もし
 2つ以上のエリアを選択したい場合には、データバーの
 ときと同じように「CTRL」キーを押しながら選択する

受注金額	商品区分 🔽								
月 🚽	飲料	加工食品	菓子類	魚介類	穀類、シリアル	調味料	肉類	乳製品	総計
01	¥251,700	¥48,700	¥205,800	¥63,600	¥130,900	¥185,900	¥336,500	¥174,900	¥1,398,000
02	¥252,600	¥94,900	¥144,400	¥320,600	¥298,800	¥213,000	¥286,800	¥133,500	¥1,744,600
03	¥1 00,500	¥233,100	¥1 25,000	¥221,000	¥265,300	¥157,100	¥188,600	¥135,600	¥1,426,200
04	¥176,800	¥186,900	¥87,100	¥553,000	¥213,500	¥121,800	¥243,600	¥125,400	¥1,708,100
05	¥283,200	¥33,200	¥255,000	1,76,200	¥274,000	¥634,900	¥137,000	¥178,300	¥1,971,800
06	¥356,500	¥245,000	¥59,200	¥736,100	¥242,900	¥240,200	¥104,000	¥69,800	¥2,103,700
07	¥436,400	¥215,300	¥106,100	¥373,500	¥392,500	¥245,200	¥182,900	¥184,900	¥2,136,800
08	¥307,900	¥140,700	¥138,100	¥515,300	¥342,600	¥114,900	¥1 49,000	¥91,800	¥1,800,300
09	¥334,500	¥120,900	¥180,900	¥136,600	¥158,900	¥471,500	¥139,300	¥197,900	¥1,740,500
10	¥300,800	¥142,500	¥109,400	¥234,400	¥246,500	¥221,200	¥142,600	¥100,800	¥1,498,200
11	¥199,700	¥270,400	¥155,400	¥124,700	¥259,600	¥463,100	¥97,500	¥208,600	¥1,779,000
12	¥721,400	¥142,600	¥81,400	¥403,600	¥190,100	¥107,500	¥36,400	¥148,400	¥1,831,400
総計	¥3,722,000	¥1,874,200	¥1,647,800	¥3,908,600	¥3,015,600	¥3,176,300	¥2,044,200	¥1,749,900	¥21,138,600



図 2.4 カラースケールの使い方



第 2 章

カラースケールは、莫大な数のデータの中から最大値や最小値、平均値などを探し出すのにたいへん有効な ツールと言えます。特に図 2.6のように商品アイテムが増えた場合、売上額の傾向を把握するのには最適で す。



図 2.6 莫大なデータでも大丈夫

図 2.5 カラースケールの細かな設定